

平成 27 年度青森県計画に関する
事後評価
(介護分)

令和 7 年 1 月

青森県

(事業No. 5)

※H27執行残

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野の拡大」 (小項目) 介護未経験者に対する研修支援事業							
事業名	介護人材発掘育成事業	【総事業費】 16,172千円						
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域	<table border="1"> <tr> <td>H27執行残</td> <td>960</td> </tr> <tr> <td>R3執行残</td> <td>15,212</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>16,172</td> </tr> </table>	H27執行残	960	R3執行残	15,212	総事業費	16,172
H27執行残	960							
R3執行残	15,212							
総事業費	16,172							
事業の実施主体	県(介護労働安定センター)							
事業の期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了							
背景にある医療・介護ニーズ	介護職の人材不足や雇用のミスマッチ解消等に向け、介護未経験等でも介護現場への就労意欲のある者が参入可能な仕組みづくりが必要。							
	アウトカム指標： 介護事業所等への新規就労者(研修参加者の1割以上)							
事業の内容(当初計画)	<p>介護現場への就労意欲のある者(特に中高年齢者等)に対し、介護現場で就労する際に求められる最低限度の知識・技術等を習得できる入門的な研修を実施する。</p> <p>研修修了者に対して、福祉人材センター、公共職業安定所、シルバー人材センター等の関係機関と連携し、就労のための支援を行う。</p> <p>(1) 対象者 介護未経験・無資格であるものの介護現場での就労意向のある中高年齢者等</p> <p>(2) 研修内容 尊厳の保持と自立支援等介護職員としての心構え、基本的な生活支援技術、緊急時の対応等に係る講義、演習など計21時間</p>							
アウトプット指標(当初の目標値)	開催回数：8回、受講者数：180名							
アウトプット指標(達成値)	<p>開催回数：8回 研修受講者数：119名 研修修了者数117名</p> <p>(目標未達成の原因等に対する見解と改善) 研修受講者数が目標を下回っていることから、圏域ごとの募集方法や開催時期等を見直すなど、より多くの受講者の参加を確保するための工夫が必要である。</p>							
事業の有効性・効率性	<p>事業実施後のアウトカム指標：介護分野への就労者の確保(研修参加者の1割)</p> <p>→ 観察できた(研修修了者117名のうち修了後に就労につながった者14名)</p>							
	<p>(事業の有効性) 介護人材不足が慢性化している中、介護に係る資格取得経費や業務未経験等の要素が人材参入の阻害になっているが、本事業により、できるだけ経費を抑えて就労に結びつけるとともに、介護について一定水準の知識を持った人材を地域へ輩出することができた。 事業者においては、当該就労者が介護サービスについて一定の知識水準が担保されているため、採用時の選定・教育に係る負担軽減、時間・コストが軽減できた。</p> <p>(事業の効率性) 県内6圏域すべてで研修を行うことで受講の利便性を確保したことにより、多くの受講者の参加を確保できたと考える。</p>							
その他								